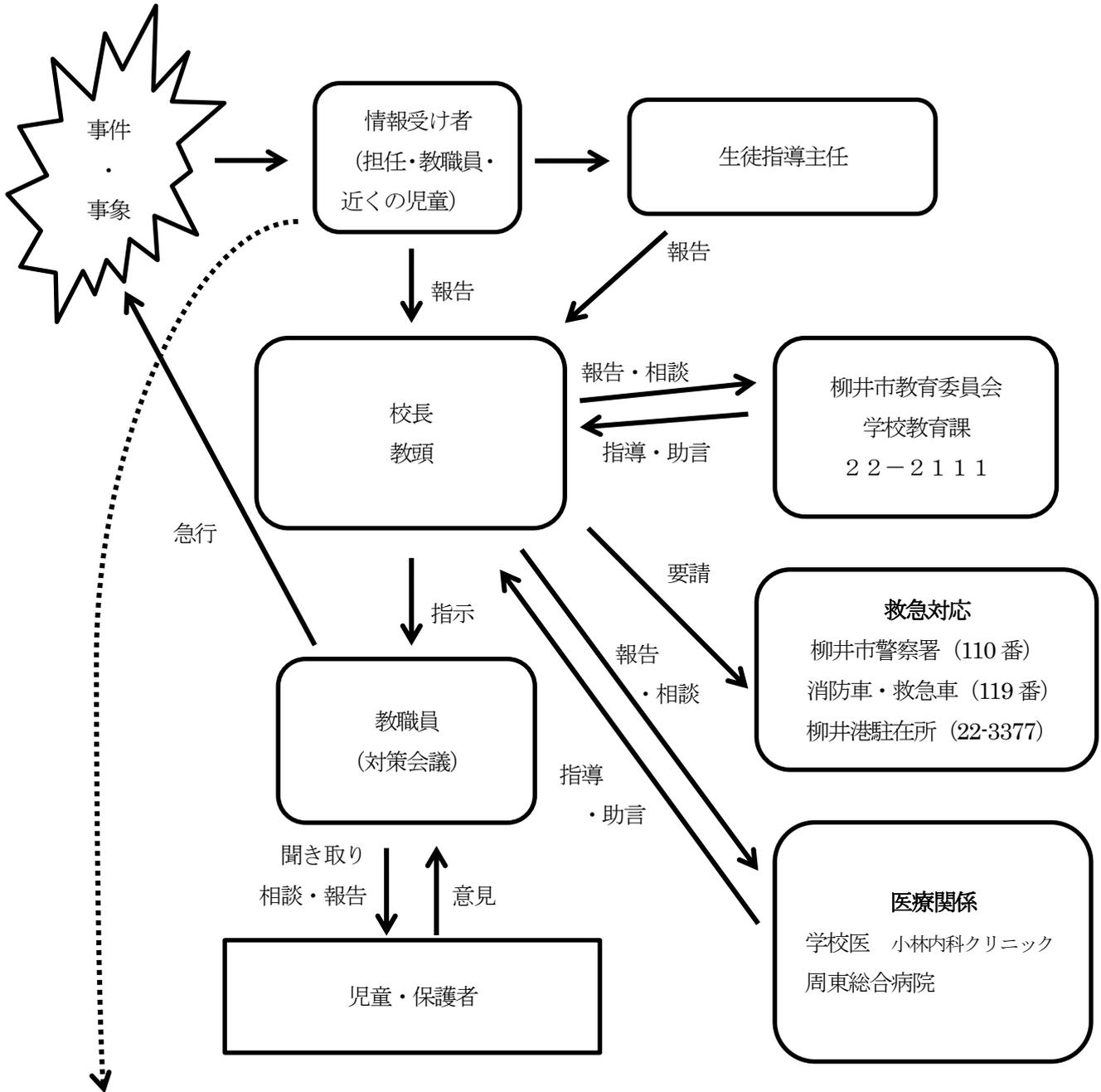


柳東小学校危機管理マニュアル（概要版）

I 個別の危機管理

1 事故発生時の対応の基本

<緊急時の対応フロー（学校内）>



<情報受け者の対応>

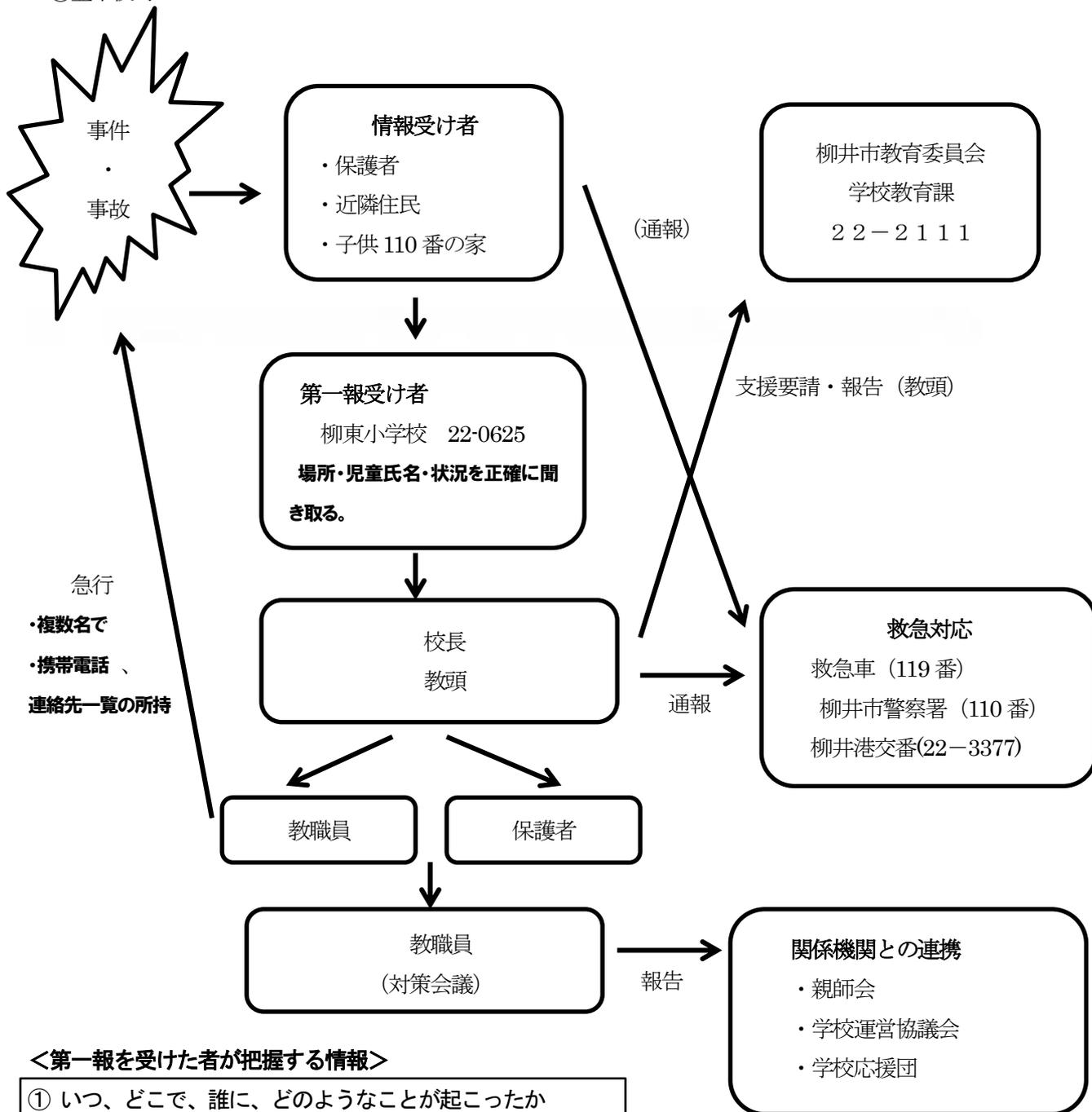
- ① 事態・状況の把握
- ② 児童の安全確保（不審者の侵入防止や退去のための対応）
- ③ 負傷者の状況の確認（意識・心拍・呼吸・出血等）
- ④ 応急処置（止血・心肺蘇生）
- ⑤ 協力要請や指示と管理職への報告

<確認事項>

- ① 他に人がいる場合は、教職員は現場を離れない。
- ② 事故・事象発生時からの状況と対応を時系列で記録しておく。
- ③ 児童に関して各家庭に速やかに連絡する場合は安心メール配信を行う。
- ④ 報・連・相・確の原則を常に忘れずに行動する。

2 様々な事故への対応

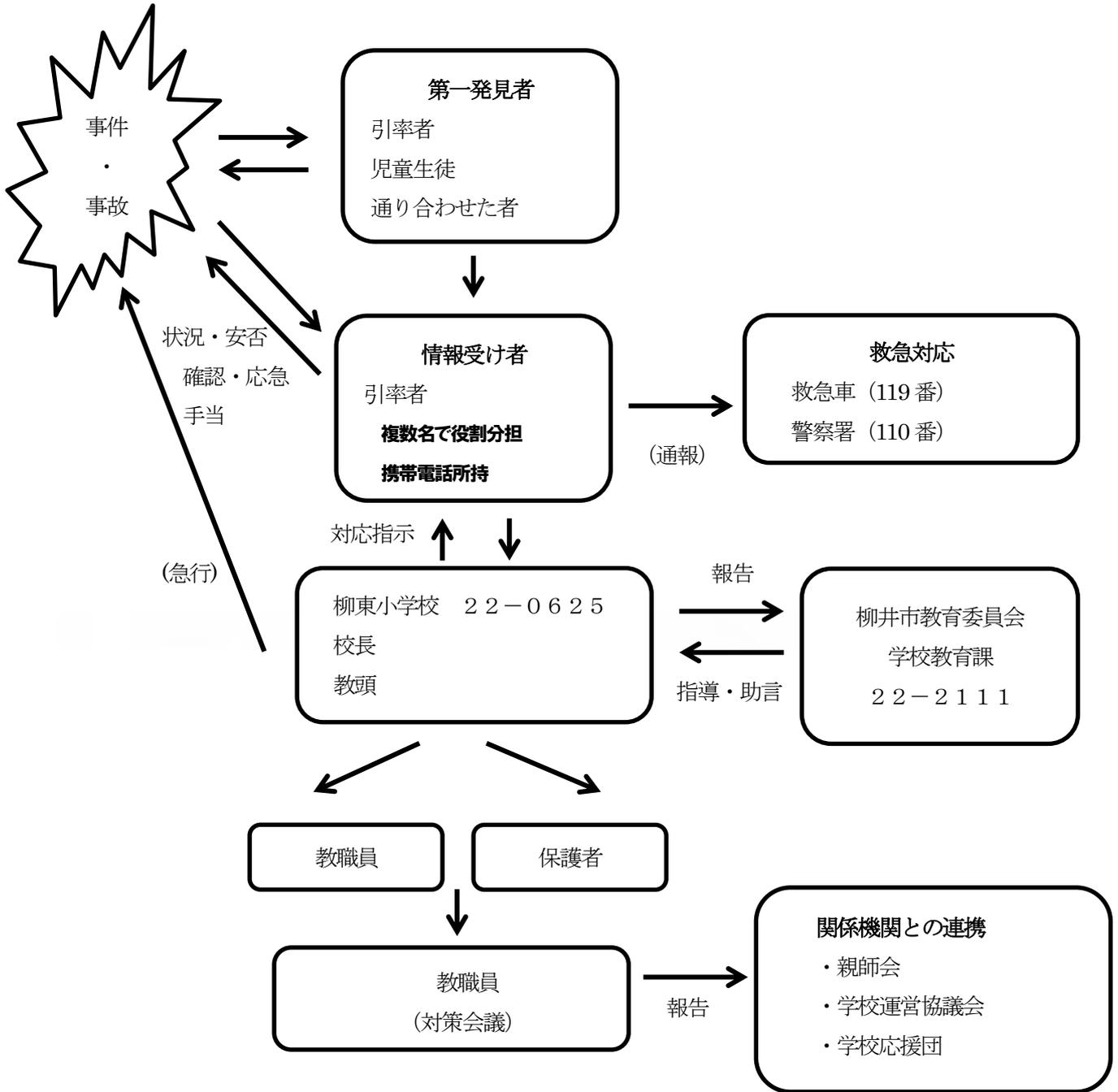
①登下校時



<第一報を受けた者が把握する情報>

- ① いつ、どこで、誰に、どのようなことが起こったか
- ② 児童の負傷の状況
- ③ 119番、110番通報しているか。
- ④ 周囲の児童の状況確認
- ⑤ 通報者の連絡先(氏名、携帯電話番号)の確認

②校外活動時



<情報受け者（引率者）が確認・対応すべきこと>

- ① いつ、どこで、誰に、どのようなことが起こったか状況把握
- ② 児童の負傷の状況の把握
- ③ 引率者の連携と役割分担（携帯電話で連絡を取り合う。）
- ③ 119番、110番通報しているか。
- ④ 周囲の児童の状況確認と避難指示
- ⑤ 第一発見者の連絡先（氏名、携帯電話番号）の確認

<事前の対策>

- ① 事前に現地の状況や気象情報などを十分に把握しておく。
- ② 悪天候などで活動を変更する場合を想定し、事前に代案を決めておく。
- ③ 班活動などで、児童と離れる場合は、児童からの連絡体制を整備しておく。